

授業科目名	子どもと国際交流	科目コード	K0310P09
英文名	Cross-Cultural Study Abroad		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応
------	------------------------

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	3年・4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	世界の国々の相互依存性や異なる文化を持つ人々の共存の必要性がますます高まる中、次代を築く子どもたちにどのような国際教育や国際交流体験を提供すべきかについて考え、この面での受講生の将来の教育実践の基礎を作っていきたいと思えます。教員のミニ講義、資料購読、フィールドワーク、個人発表、グループディスカッションを通して、実践的知識を身につけます。活発な参加を期待します。			
-------	--	--	--	--

キーワード	相互依存・共生	子ども	国際教育	国際交流	教育実践
-------	---------	-----	------	------	------

到達目標	小学校での国際教育と国際交流活動について国内の多くの実践例から学び、独自の指導案や活動案が作成できる。
	小学生への英語教育の中で異文化との出会いがどのように設定されているかを学び、教師の役割について考察する。
	富山県における国際交流活動に関する調査のためのフィールドワーク（姉妹校協定、スポーツ・文化事業、外国籍の子ども達への支援等についての調査）を行ない、身近にある実践と課題について学ぶ。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業ガイダンス、世界とのつながりを考える～グローバル化とは何か、多文化共生を巡る世界の問題	
	【予習】「グローバル化」という言葉であなたが意味していることを明確にして文で表してみよう	20分
	【復習】学習内容の復習	20分
第2回	富山を考える～多文化共生プラン、外国にルーツを持つ子ども達への支援、国際交流イベント	
	【予習】富山県（国際課）ホームページ検索	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第3回	グローバル化と教育分野との関わり、外国籍の子ども達の言語発達	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】クラスでのディスカッションを経て考えたことを文章化する	30分
第4回	外国籍の子ども達の言語発達、日本文化の特徴を考える	
	【予習】あなたが考える日本文化の特徴を書いてみよう	30分
	【復習】クラスのディスカッションと資料購読を経て深まった内容を改めて書いてみる	30分
第5回	日本文化について考える（資料：第1章～第2章） 教育における国際教育と国際交流はなぜ必要か	
	【予習】資料を読んでポイントをつかんでおく	20分
	【復習】資料購読とクラスのディスカッションを経て拡大、進化した考えをまとめて書いてみる	30分
第6回	文化の「吸収」から「発信」へ ・ 欧米文化中心からアジアへの関心へ ・ 自文化の対象化 ・ 世界の様々な挨拶	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第7回	日本文化と異文化コミュニケーション ・ 実践例の検討方法について	
	【予習】資料（プリント教材）の読解後の感想をまとめる	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 担当決定箇所を確認する	30分
第8回	小学校における国際教育と国際交流（1）：特色ある実践例1	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第9回	小学校における国際教育と国際交流（2）：実践例2	
	【予習】小学生だった頃の英語や国際交流活動の経験を思い出してみよう ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分

第10回	小学校における国際教育と国際交流（3）：実践例3	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第11回	小学校における国際教育と国際交流（4）：実践例4	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第12回	県内の学校で取り組まれている国際交流活動に関するフィールドワーク ～ 海外姉妹校を持つ学校の訪問	
	【予習】フィールドワークでの質問項目の明確化	30分
	【復習】フィールドワークの結果報告書作成（グループワーク）	30分
第13回	個人研究プロジェクト＜準備＞～「富山における子どもの国際交流活動とあなたが描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
	【予習】個人研究プロジェクトの構想	30分
	【復習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
第14回	個人研究プロジェクト＜調査＞～「富山における子どもの国際交流活動とあなたが描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
	【予習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	【復習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
第15回	個人研究プロジェクト＜発表＞～「富山における子どもの国際交流活動とあなたが描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
	【予習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	【復習】個人研究プロジェクトのまとめ	30分
第16回	期末試験	
	【予習】期末試験準備	80分
	【復習】	

評価方法	(1) 平常点：課題、宿題（50%）（2）個人研究プロジェクト（50%） （人間性20%, 社会性40%, 専門性40%）		
使用資料 <テキスト>	プリント教材を配布します。	使用資料 <参考図書>	水越敏行・田中博之（編著）『新しい国際理解教育を創造する - 子どもがひらく異文』
授業外学修等	(1) 次週の教材を必ず読み、ディスカッションに備えてください。 (2) 教材の輪読を行なう場合は、担当箇所の内容と自身の意見をまとめたプリントを作成し配付してください。		
授業外質問方法	研究室での面談 または Eメールでの連絡 mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	火曜日 4 限・水曜日 2 限		